

ようちえんのあゆみ

～70年間 ありがとう～



令和4年2月22日(火)
岡山市立平津幼稚園

平津幼稚園 園歌

作詞 中川 達雄
作曲 福明 一美

一 おひさまのあへん よちえん
はなびらひびきあふ おどろきにわ
つないだてて あったかい
ながよしひびき よちえん

二 そちかせんやま よちえん
みだりもきこえり ひかるにわ
うたごえいはい あったかい
ながよしひびき よちえん

三 おはようびやなり よちえん
あいにくひびき わたしにわ
こなゆきあつてき あったかい
ながよしひびき よちえん



ごあいさつ

岡山市立平津幼稚園
園長 古元 方人

桜が満開に咲きほこる令和3年4月、初めて平津幼稚園に赴任し3度の驚きがありました。まず、たいへん静かで自然豊かな良い環境の中にある広い園庭と立派な園舎に驚き、次に今年度の園児が3名だと聞いて驚き、そして、平津幼稚園が令和3年度末で閉園になると聞いてさらに驚きました。70年の歴史と伝統を有し、地域の皆様にも助けられ、愛され続けてきた平津幼稚園が閉園することになり深い惜別の念を禁じえません。

平津幼稚園は、昭和27年4月に「御津郡平津村立平津幼稚園」として、この楡津の地に開園し、以来今日まで自然豊かなこの地で創意工夫のある教育活動を進めてまいりました。当初は、平津小学校の運動場や教室を一部借用していましたが、昭和38年に現在と同じ場所に独立園舎が新築され、昭和46年には市町村合併により「岡山市立平津幼稚園」と改称しました。そして、昭和50年に平津小学校は新校舎に移転しましたが、幼稚園は現在の場所に残りました。途中、園舎の建て替え工事で1年だけ、小学校の運動場の一角で過ごしましたが、70年間この地で歩みを続け今日に至っています。令和3年度末までの卒業園児数は、2,307名となっています。

開園50周年誌を見ますと、園庭にも保育室にもあふれるほどの子どもたちが、楽しそうに過ごしていたことがよくわかります。現在、園児は3名になりました。ずいぶん少なくなりましたが、小規模の良さを生かした一人ひとりの個性や興味関心に応じたいきめ細やかな教育活動ができたことと自負しています。

地域の皆様には、入園式や卒業式、運動会、発表会など園の行事や、「ふれあい教室」「お茶の会」「お花の会」「折り紙教室」などのボランティアに多数の方が参加し、ともに活動をしてください、様々な面で多大なるご支援をいただきました。

また、保護者の皆様にも園の教育に関心をもってください、多くのご指導とご協力をいただき、園児たちを温かく見守り支えてくださいました。

70年間の長きにわたり、平津幼稚園のためにご尽力くださいました地域の皆様、保護者の皆様、これまでに勤務された園長、教職員の皆様にも感謝申し上げます。また、子どもたちのためにご尽力いただきましたすべての方々に心から敬意を表し、感謝申し上げます。ありがとうございました。



昭和27年 平津小学校に御津郡平津村立平津幼稚園開設



昭和30年 一宮町立平津幼稚園と改称



昭和28年度 学芸会(竹歌物劇)



昭和32年度 遠足(鷺羽山)



昭和34年度 入園記念



昭和38年度 遠足(龍が瀬川土手)



昭和38年度 入園記念

閉園によせて

岡山市立平津幼稚園
PTA会長 杉原 弥生

今年、平津幼稚園は70歳の誕生日を迎え、運動会でお祝いしました。しかし残念ながら、70年という節目年に閉園することになってしまいました。
縁があって平津学区に住むことになり、長女の時から足掛け6年間、平津幼稚園にお世話になりました。最初は、様々な行事に地域の方がかわり一緒にに行くことに驚きました。日々の活動に畑のお手入れ、お茶やお花のお稽古、交通安全教室や折り紙、絵本の読み聞かせ。イベント時にはたくさんのバルーンアート。運動会の最後に地域の方も一緒に踊ったうらやみ踊り、収穫した野菜と一緒に食べたカレーパーティー。子どもたちが一日の出来事を話す時には必ず笑顔でした。全てが他では経験することができない温かい思い出です。平津学区が大事にしている「地域の子どもは地域で育てる」という想いを実感しました。

70年の年月の中で、「平津幼稚園とともに歩んできた」「閉園を寂しく思う」という地域の方々の声を多く聞きます。閉園はとても残念ですが、平津幼稚園で育ったという自信と誇りをもって未来へ羽ばたいてほしいと心より願っています。

最後になりましたが、地域の皆様、歴代の園長先生、教職員の皆様、保護者の皆様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

70年の歴史の一コマの思い出

地域学校協議会活動推進員 南谷 良二

岡山市立平津幼稚園が令和4年3月31日をもって70年の歴史の幕を閉じます。私の年齢に換算すると、生まれる2年前に開設され、随分長い歴史を感じるとともに、振り返ればあっという間の70年間のような気がします。

私が幼稚園に携わったのは、平成21年からです。当時の連合町内会長から「幼稚園にバルーンアートに行こう」と誘われたのが最初でした。慣れない手つきで風船を捻って犬やサーベルを作って園児に喜んでもらえた記憶があります。その後、ドングリ遊びや生活発表会、運動会で園児と玉入れ競争 etc. 一番感動したのはサンタクロース役です。プレゼントを背負って鈴を鳴らしながらロウソクに照らされた部屋へ。園児は本物のサンタクロースが大きな袋にプレゼントを持って来てくれたと感動してハイテンションに。サンタさんの前で大きな声で歌ってくれたクリスマスソングが今でも心に残っています。そして帰る時、サンタさんとハイタッチ。あの時の園児の顔と手のぬくもりは今でも忘れません。

サンタさんとハイタッチした園児は、今では高校生や大学生に。街中で会った当時の園児が「おじちゃん元気」と声を掛けてくれたり。時の流れの速さと70年の歴史の重みを感じます。孫がお世話になった平津幼稚園、寂しいけれどありがとうございました。